

瀬戸内タウンミーティング（行幸地区）

平成 21 年 11 月 13 日（金）19 時～21 時 10 分

ゆめトピア長船 1 階 健康スタジオ

参加者：男性 24 人、女性 9 人、計 33 人

市民から出た意見と市長の反応

- ・福岡住宅の中央公園に中学生がたむろしている。喫煙やごみのポイ捨てや街灯の破壊などが起こっていて、自治会として不安に思っている。中学校の先生だけでなく家庭や地域が協力した子育てが必要と思う。どんな仕組みが考えられるか。

(市長) 学校と地域を結びつける仕組みとして「コミュニティスクール」というものがある。地域が「学校運営理事会」を組織し、地域と学校が密接に関わるもので、東京都足立区や岡山市などの事例がある。また、地域での挨拶や声かけなどを行うことで、地域と子どもたちをつなぐ取り組みも考えられる。

子ども同士のつながりや付き合いを利用した方法として、子どもの中での意識改革が考えられる。地道な活動が必要になるが、学校、地域、家庭、行政それぞれにできることがあると思う。

- ・香登川の改修工事が、丸山町内会の北側、一部分だけ 20 年間手付かずのままになっている。増水した場合、最も被害を受けると思うので早く取り組んでほしい。

(市長) 一度現場を見に行く。香登川の改修工事は県の事業なので、市としてできることを考えたい。

- ・しがらみの無い市政を期待している。先ほどの中学生の教育など、いろんな対話が不足しているから起きていることではないかと思う。対話をすることで、市民が市政に参加している、という意識を持たせることが必要だと思う。

(市長) 私が市政の中で大切に思っているのは、フェアであること。自分の良心が正しいと思えるかどうか。公平であること、公平であるためのルールをどうつくるかが大切。

また、市政への参加意識を持ってもらうための機会をつくることが必要と思う。今回のタウンミーティングだけでなく、集落単位で、ひざを交えた議

論をしたい。

今年度、補助金をカットしたが、いったんしがらみを切って、もう一度市民の知恵、力を出してもらうための方法をもう一度考えたい。決して補助金を切ることが目的ではない。補助金とは、たとえば100万のお金を出して、市民の力を集めて300万、400万の力にすること。金だけ、物だけ、人だけではなく、バランスを考えていきたい。

- ・今までは何でもお上に頼めば、という意識があった。一人一人が「何ができるか」という意識を持つことが大切だと思う。

(市長) まちづくりは市民が主役である。ある地域では補助金、ある地域では役所の持つ知恵の提供など、地域にあったものを提供できる仕組みをつくっていく。

- ・補助金の話が出たが、名刀まつりは助成金がかットされたため、今年はやらない、と聞いた。まつり自体はやり方次第で、お金をかけずにできると思う。市民、地域の力がもっと出せばいいまちづくりができると思う。

(市長) 前向きな提案と受け止める。名刀は長船の文化である。来年の国民文化祭で、瀬戸内市は刀剣の情報発信を行う。

何かを行う時に、自分だけの組織でやると楽ではあるが、できるものには限界がある。さらに良いものをつくるには、他の組織とのかかわりが必要になる。いろいろな段階での関わり方を考えなくてはならないので難しくなるが、知恵を絞ってやっていきたい。

- ・合併後に引っ越してきた。「前の長船の方が良かった」という話を周りから聞く。また、ごみ袋が長船と邑久・牛窓で異なる。制度が違うのは理解しているが、合併して一つの市になっているので一つになればいいのに、と思う。このほか、下水道の説明会で「水道代が値上がりした」という話を聞くなどまだ市民には一体感が感じられないように思う。

(市長) 水道料については県内で見ると高いところは他にもあるが、隣の備前市と岡山市が安いので、「高い」と思われるのだと思う。検針が月一回になったから値段が高い、というわけではない。水道の供給方法は広域から購入しているものと自前の水源からのものと2つある。どうすれば料金を下げられるか、経営のスリム化を図っていきたい。ごみ行政はまだ市として一つになっていない。長浜のタウンミーティングで「クリーンセンターかもめがあるのだから使えばいい」という意見をいただいた。非常にありがたいと思っている。また、合併の効果はなかなか目に見えない部分がある。見えるように

やっていきたい。一体感を支えるものをつくっていく。

今後、うまく情報提供をしていきたいと思うので、みなさんもちょうと受け取ってほしい。情報を出す側、受ける側それぞれの力が必要と感じている。

(河本) 市長が市民の前に立って話を聞くことは素晴らしいと思う。今後、議員として市民の声に応えられるように努力する。

(平原) ごみ、水道が一体でないという話が出た。長船の水を市民全員に飲んでほしいというのが私の願いである。今後、市長も検討をしてくださるということで期待をしている。

(堤) 積極的な意見がたくさん出た。財源については使い方を考えるか、増税するかしか方法は無い。市民と行政、お互いが力を出し合っていくことが必要と思う。